

# イオンのサステナビリティの取り組み

## ～NPOとの協働・連携～

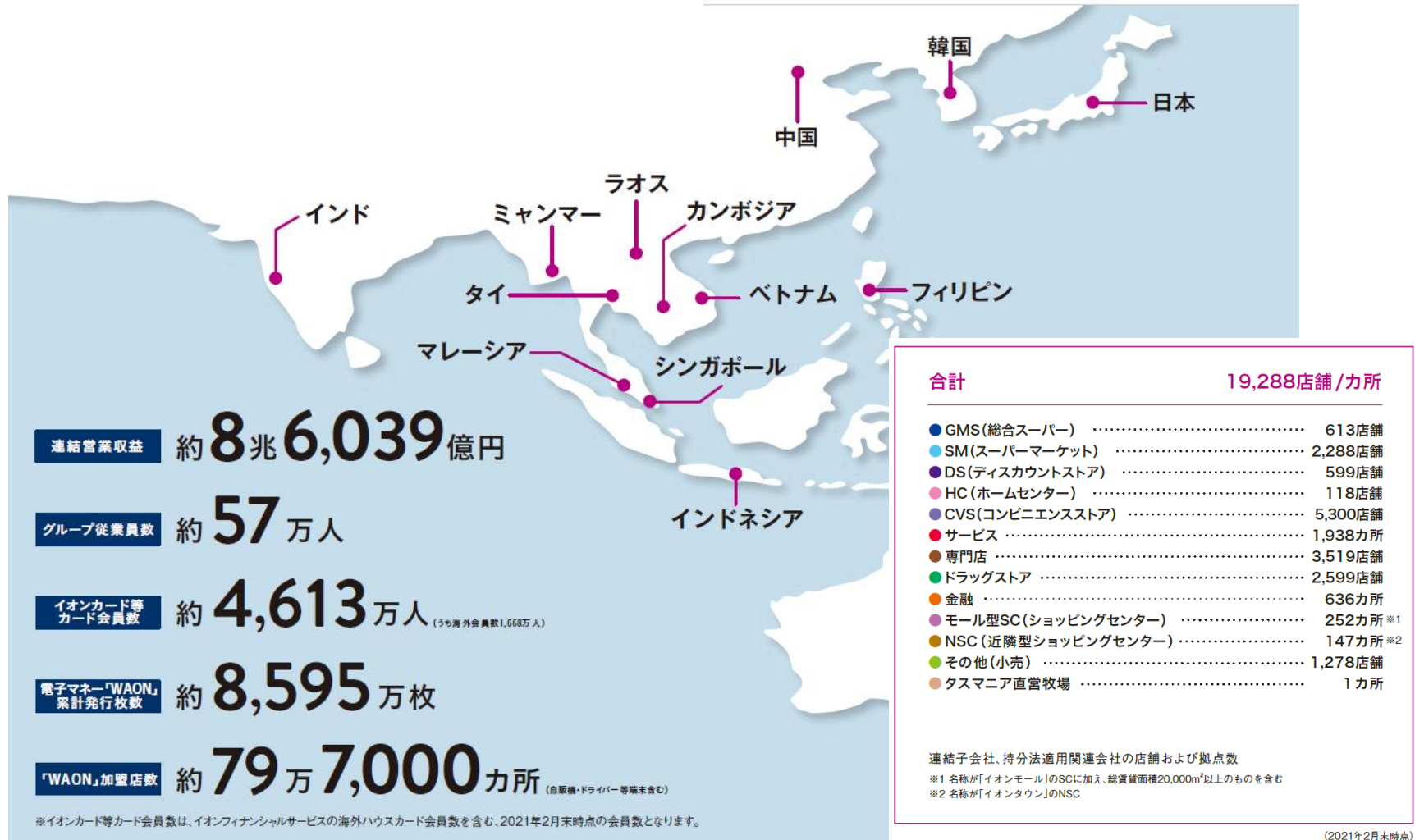
2022年1月21日

イオン株式会社

環境・社会貢献部

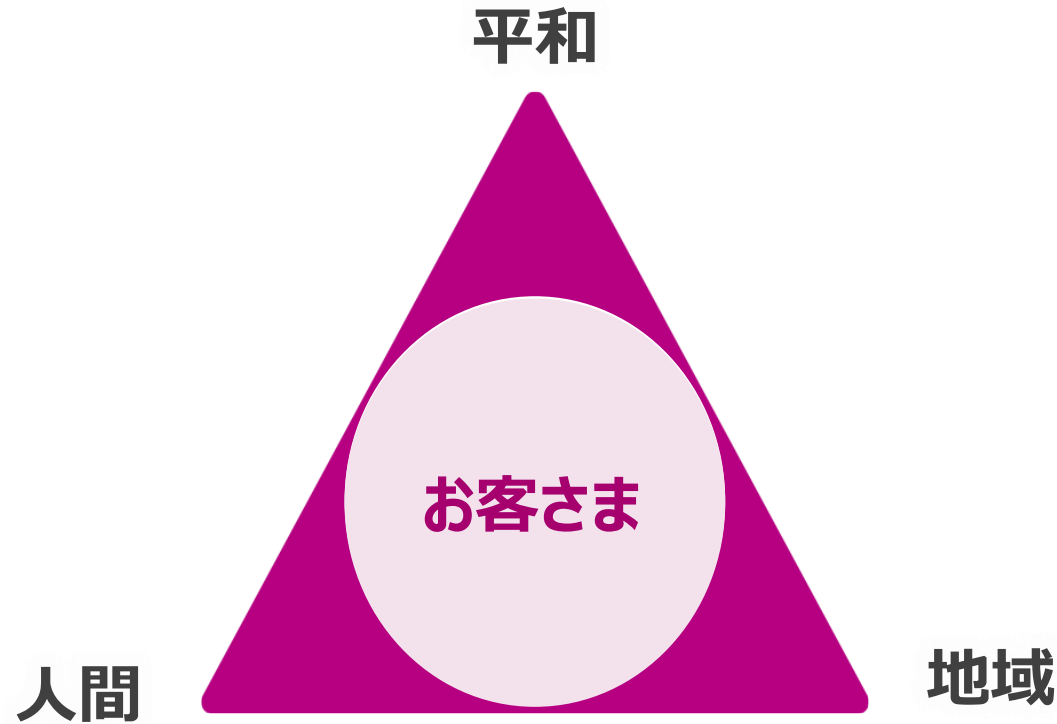
部長 鈴木 隆博

アジア14か国で19,000超の店舗を展開。年間36億人のお客さまが来店。  
お客さまの豊かで便利なくらしへの貢献を目指す。



※イオンカード等カード会員数は、イオンフィナンシャルサービスの海外ハウスカード会員数を含む。2021年2月末時点の会員数となります。

お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する。



イオンは基本理念のもと、絶えず革新し続ける企業集団として、「お客さま第一」を実践してまいります。

## イオン サステナビリティ基本方針

私たちがイオンは、「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」という基本理念のもと、「持続可能な社会の実現」と「グループの成長」の両立を目指します。

取り組みにあたっては、「環境」「社会」の両側面で、グローバルに考え、それぞれの地域に根ざした活動を、多くのステークホルダーの皆さまとともに積極的に推進してまいります。

(2018年9月改訂)

**環境**

Sustainable  
Planet

**健康・人**

Healthy & Empowered  
People

**地域**

Heartful  
Community

# イオンのサステナビリティの取り組み (Sustainability Compass)

パートナーの皆さまとともに  
(事業パートナー、NPOの皆さまへ)

## Sustainable Planet

### ★脱炭素ビジョン2050

- スマートイオン
- RE100 再エネ活用
- EV100

### ★プラスチック利用方針 ★食品廃棄物削減目標

- 資源回収

### ★持続可能な調達方針

持続可能な調達

- MSC/ASC/FSC認証
- フェアトレード
- 地産地消

人権に配慮した公正なビジネス

- イオンサプライヤー取引行動規範 労働環境 (労働者の人権など)

人にやさしいデジタル化社会

- 情報セキュリティ
- 顧客データ管理

- ネットスーパー

### ★健康経営

- ワークライフバランス
- 柔軟な雇用条件
- ハラスメント防止
- 最低賃金/非正規雇用
- 金融リテラシー向上
- 生活応援ローン

雇用・働き方・働きがい

ダイバーシティ&インクルージョン

- 女性・障がい者・高齢者・LGBT
- ※インナー+お客さま+地域

食の安全・安心

- オーガニック
- 減のめぐみ
- 契約農場畜産
- グリーンアイ

## Healthy & Empowered People

イオンピープルとともに

- バリアフリー店舗
- 障がい者対応
- 認知症対応

お客さまにとっての価値

一人ひとりが元気で自分らしく輝ける暮らし

お客さま

人と人の絆で結ばれ支えあう喜びのある暮らし

社会にとっての価値

### ★コロナ防疫プロトコル

脱炭素・気候変動

- 電気自動車充電ステーション

今も、これからも平和で心豊かな暮らし

- レジ袋削減
- 循環型社会への貢献 (Loopへの参画他)

サーキュラーエコノミー・資源管理・食品廃棄物

生物多様性

- 生物多様性アワード 生物多様性みどり賞
- 環境活動助成 (環境財団)

イオンの森づくり (環境財団連携)

- イオン・デー
- 黄色いレシート
- ご当地WAON

街づくり・絆づくり

- 買物弱者対応
- 地域産業応援・地域創生
- C & G活動
- 包括連携協定
- 社会福祉基金

防災・災害時ライフライン

### ★東北復興 心をつなぐプロジェクト

- 災害復興支援
- ふるさと未来支援 (1%クラブ)

## Heartful Community

### ★子どもの貧困 (子ども食堂支援)

- チャーズクラブ
- Eco1グランプリ
- ティーンエイジアンバサダ
- アジアユースリーダーズ
- スカラシップ (1%クラブ)
- ASEP (環境財団)

地域コミュニティの皆さまとともに

# NPOとの連携取組事例

## ～地域課題・社会課題への対応～

- 毎月11日、応援したいボランティア団体等のボックスに黄色いレシートを投函すると、レシート合計金額の1%をイオンから各団体に寄付

## 自分が住む地域を応援

店舗近隣の団体の中から、お客さまが応援したい団体を選択



毎月11日のお買物で黄色いレシートをお渡し

応援したい地域の団体のBOXにレシートを投函

レシート合計金額の1%をイオンが拠出して団体に寄付

2020年度

助成団体数 のべ約2万6,200団体

贈呈相当額 約2億6,502万円

2001年～2021年2月末までの累計

助成団体数 のべ約37万2,500団体

贈呈相当額 約43億2,417万円



対象の活動分野を決めて地域のボランティア団体を応援。  
各店舗ごとに店舗近隣で活動するボランティア団体を募集・登録。

## 支援対象の 5つの活動分野



①福祉の増進



②環境保全・環境学習



③街づくりの推進



④文化・芸術の振興



⑤子どもの健康と安全



## 地域のボランティア団体の活動を応援

【取組事例：イオン船橋店の登録団体 NPO法人ちばMDエコネット】

### 当団体の活動内容：

福祉作業所として、障がいのある方に働く場を提供

障がいのある方とない方が一緒に働く**コミュニティカフェを運営**

※2012年開業、障がい者スタッフ10名、サポートボランティア20名で運営



コミュニティカフェひなたぼっこ  
外観



黄色いレシートによる支援で  
カフェで使用するさまざまな備品を寄贈  
(食器、トースター、荷物カゴ、傘立てなど)



イオン船橋店の従業員、チアーズクラブ  
の子どもたちが当施設を訪問・交流

## 地域のボランティア団体の活動を応援

【取組事例：イオンつくば店の登録団体 NPO法人金田台の生態系を守る会 】

### 当団体の活動内容：

茨城県つくば市にある「金田台」の**自然保護**を目的とした活動団体  
活動を通じて魅力的な自然環境の保全、次世代への継承を推進

※2013年設立、約40名の会員で活動



金田台の森の観察会 & モニタリング調査を定期的に行う  
植物・昆虫・野鳥・爬虫類などを調査しながら観察



黄色いレシートによる支援でモニタリング  
調査で使用する植物図鑑を寄贈

- 全国イオン店舗を拠点に、小中学生の子どもたちを対象に、「環境」に興味を持ち、集団行動を通じて社会的なルールを学ぶクラブを運営

## 地域の子どもたちの成長を育む「場」の提供

全国のイオン店舗を拠点に活動

※ グループ主要企業が税引前利益の1%相当額を公益財団法人イオンワンパーセントクラブに拠出 その拠出金の一部を利用して当活動を実施

- イオン店舗の従業員が、毎回の活動をコーディネート  
地域行政やNPOにも活動にご協力いただく
- 年間活動テーマに沿って、1年を通して活動を実施

2019年度

全国 約450クラブ、約6,300人が参加

2005年～2020年度までの累計

全国 のべ約92,500人の小中学生が参加





# 東北復興支援「イオン心をつなぐプロジェクト」



2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	
------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	--

第1期  
《初期的構築期》

被災地の早急な『**復旧・復興**』を支える

第2期  
《自立拡大》

『**交流と拡大**』をテーマに支援

第3期  
《整理充実期》

『**地域課題への集中と実践**』をテーマに持続可能な支援

次のステージへ

## 東北復興ふるさとの森づくり植樹活動（30万本目標）

目標達成

→ 316,523本

## グループ各社が実践するボランティア活動（30万人目標）

目標達成

→ 398,571人

## イオン未来共創プログラム

## 被災地ボランティア

継続的な交流を通じて、地域課題の更なる解決を支援



店舗屋上でいち早く営業再開



東北応援「黄色いレシートキャンペーン」



19年7月開店 イオン浪江店



にぎわい東北フェア

# イオン未来共創プログラムの主な事例

## ■ 岩手県大槌町 「かねさわクレソン」

放棄地となった休耕田を再生し、清らかな沢水で育てたクレソンです。



## ■ 宮城県南三陸町 YES工房工芸品

福幸タコ（オクトパスくん）や木工品・まゆ細工商品など幅広く展開できます。



## ■ 岩手県 「釜石・遠野ワイン」

2014年、イオンのボランティアが植えた苗から「釜石ワイン」が誕生しました。



## ■ 宮城県丸森町耕野地区 「ころ柿」

交流を通して全国にファンをもつ丸森町の「ころ柿」と農産物をお届けします。



## ■ 岩手県遠野市 「米通どぶろく」

遠野市の限界集落「米通地区」の無農薬米を使った本格的などぶろくです。



## ■ 福島県南相馬市 「南相馬市産農産物」

南相馬のお米、野菜、加工品を震災前のように普通に購入して欲しい。





# 「イオン こども食堂応援団」の発足

2020年12月、「イオン こども食堂応援団」を発足。コロナ下で特に大きな負担を強いられている子どもたちと、子育て世帯の暮らしを応援するため、NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえと連携し、イオングループ各社が有する事業特性を活かして、継続的な子どもの「食」支援を行う



## 【主な取り組み】

- ◆ 全国のイオン店舗を活用した場の提供や、イオン防疫プロトコルを通じた開催支援（季節イベントや啓発活動等の取り組みの場）
- ◆ イオングループ各社での募金活動
- ◆ 公益財団法人イオンワンパーセントクラブの寄付
- ◆ むすびえと地域行政の連携スキームを用いた支援

## ●こども食堂が目指していること

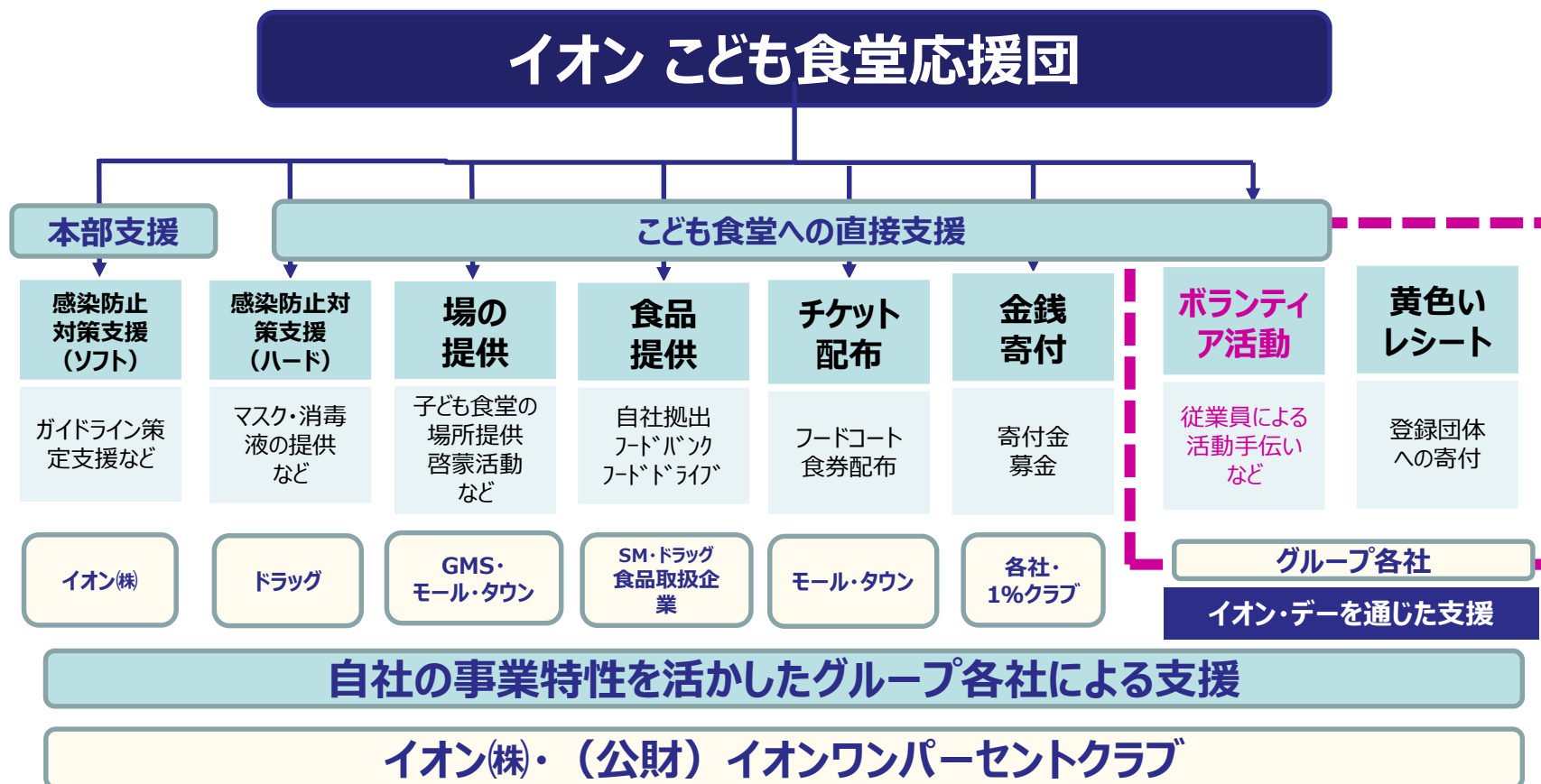
- ① 子どもの貧困対策（食支援）      ② 地域づくり（交流拠点）

全国に店舗網を持つイオンの事業特性を活かし、各地域のこども食堂と連携してイオンの店舗を拠点とした支援を目指す。



# 「イオン 子ども食堂応援団」 全体像

「イオン 子ども食堂応援団」をグループ全体のプラットフォームとして、グループ各社が自社で取り組む子ども食堂の応援プログラムを決めて実施。イオンの従業員が子ども食堂でのボランティア活動にも参加できる枠組みも現在検討中。



# イオン ども食堂応援団：2021年度活動事例

## イオン相模原店

店頭でのども食堂募金活動



## 八王子OPA

ども食堂が開催するイベントの場所を提供



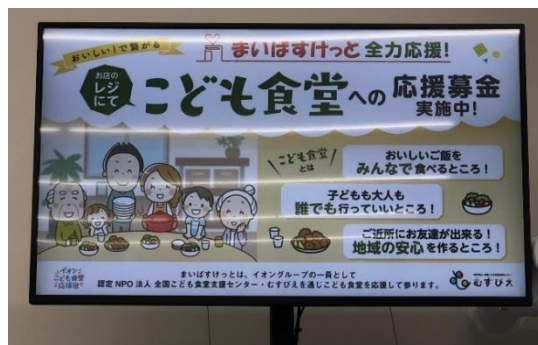
## イオンモール札幌平岡

旧社員食堂をども食堂の開催場所を提供



## まいばすけっと

デジタルサイネージでのども食堂の啓発



## イオンモール

オーナメントぬり絵企画 1枚につき10円寄付



## イオン琉球

お弁当の売上の一部をども食堂に寄付



# AEON



木を植えています

私たちはイオンです